



一隅を照らす

令和 8 年 1 月 8 日 (木) 発行
上尾市立原市中学校長 洞派 英樹
TEL 048-721-0636
学校HPは「原市中学校」→検索

学校教育目標 自ら学び考える生徒 心豊かでたくましい生徒 心身ともに健康な生徒

箱根駅伝における『不易流行』

校長 洞派 英樹

新年あけましておめでとうございます。令和8年がスタートし、学校も3学期のスタートとなりました。2026年の午年が原市中、原市地区にとって明るく素晴らしい1年となることを願いたいと思います。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

地域の皆様のご協力等により、この冬季休業日の14日間、事故等の報告もなく、穏やかな日々も続き本日第3学期の始業式を迎えることができました。この3学期は、まとめ、1年間を締めくくる、次年度につなぐ、そして第79回卒業生を輩出することと進級へ重要な学期です。

さて、先日行われた東京箱根間往復大学駅伝競走、通称「箱根駅伝」は、その熱戦とともに、教育活動においても深く考えるべき示唆を与えてくれました。この舞台は、最新テクノロジーの波を受けながらも、その根幹にある精神は変わらず受け継がれています。まさに、松尾芭蕉が説いた「不易流行」の哲学が、箱根駅伝に息づいていると言えます。

「不易」とは、いつまでも変わらない本質的なもの。「流行」とは、時代とともに変化していく新しい試みです。

箱根駅伝における「不易」は、厳しい状況の中で己の限界に挑む選手の精神性、チームの襷に込められた仲間との絆、そして102年の歴史の頂点を決するという大会の伝統と重みにあります。花の二区、山登りの五区といった難所を、一步一步踏みしめるランナーの苦闘と、それを支える沿道の熱狂は、第1回大会以来変わらぬ感動の源です。

一方で、近年の目覚ましい「流行」の象徴が、シューズの進化です。かつて主流だった地面を掴む感覚を重視した薄底から、高反発の特殊フォームとカーボンプレートを組み合わせた「厚底シューズ」が登場したことは、まさに技術革新の極みでした。この「スーパースューズ」は、ランナーのエネルギー効率を劇的に向上させ、従来の常識を覆す区間新記録の連発をもたらしました。シューズの進化は、ランニングフォームやトレーニング方法までも変え、駅伝のみならず、「走」の高速化を加速させました。

しかし、技術が選手の身体を補助するようになったからこそ、選手たちはより高度な持久力、緻密なペース配分、そして過酷な環境を耐え抜く強靱な意志という「不易」の本質を、これまで以上に追求するようになりました。速く走るための技術は流行しても、勝利への飽くなき探求心、そして泥臭い努力という本質は、決して揺るがないものです。

本校の教育においても、この二つは両輪です。中学校生活で学ぶ学力や礼儀作法は、私たち人間が社会で生きていく上での「不易」です。同時に、AIの活用や情報社会への対応といった新しい学び方や知識は、これから原中生が進む未来を切り拓く「流行」です。最新の知識や技術を吸収する「流行」の姿勢を持ちつつも、友人や家族、地域を大切にしている優しい心、困難に粘り強く立ち向かう根気という「不易」の精神を大切にしてください。進化し続ける箱根駅伝のように、原中生も時代を超えて受け継がれる歴史と伝統と、革新を恐れない飽くなき挑戦の精神を胸に、2026年も充実した一年を送ることが出来るよう、頑張りましょう。

2学年社会体験チャレンジ(職場体験学習)

令和7年12月3日(水)、4日(木)に本校の2年生が「社会体験チャレンジ(職場体験学習)」を実施いたしました。地域のご協力により、飲食店、保育園、小売店、公共施設など多岐にわたる事業所にて、生徒たちは「働くこと」の実際を肌で感じることができました。

学校の教室では見られない、緊張感のある表情や、お客様への明るい挨拶など。たった2日間ではありましたが、社会の一員としての責任を負う経験は、生徒たちにとって大きな自信となったようです。事後の振り返りでは、「働くことの大変さと同時に、誰かに喜んでもらえる嬉しさを知った」という声が多く聞かれました。この経験を今後の進路選択や学校生活に活かしてほしいと願っています。

お忙しい中、生徒たちを温かく受け入れてくださった事業所の皆様、ならびに活動を支えてくださった保護者の皆様に、心より感謝申し上げます

ふれあい講演会

冬休みを目前に控えた12月22日、元西武ライオンズ投手の長田秀一郎さんをお迎えし、ふれあい講演会を行いました。

「夢と豊かな心を育む」と題したお話の中で、長田さんが特に強調されていたのは、目標設定と振り返り、質問力です。プロの第一線で戦ってきた方ならではの言葉の一つひとつが、生徒たちの心に深く刻まれました。

質疑応答の時間には、生徒からの質問の一つひとつ丁寧に答えてくださり、プロの技術だけでなく、その誠実なお人柄にも触れることができました。これからそれぞれの進路や目標に向かっていく生徒たちにとって、自分の未来を切り拓くための大きなヒントをいただいた時間でした。



1月の行事予定

日	曜	行事予定
1	木	学校閉庁日
2	金	学校閉庁日
3	土	学校閉庁日
4	日	学校閉庁日
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	3学期始業式
9	金	給食開始日 上尾市学力調査 第3回南部地区校長会テスト
10	土	
11	日	
12	月	成人の日
13	火	月①②③④⑤(3年生)+⑥避難訓練
14	水	道徳朝会
15	木	専門委員会
16	金	
17	土	上尾市特別支援学級等「児童生徒合同作品展」10:00~16:00
18	日	
19	月	
20	火	安全点検日
21	水	生徒朝会(いじめ防止子どもサミット)
22	木	私立高校受験中心日 3年給食なし 金曜日課 中央委員会(1,2年)
23	金	私立高校受験中心日 3年給食なし 木曜日課②③④⑤①⑥ 新入生保護者説明会(体育館) 13:40受付14:00開始
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	県公立高校入試出願入力期間(インターネットを活用した出願)~2/10
28	水	生徒朝会(保健委員)
29	木	ふれあいデー
30	金	
31	土	

夢への扉を開くとき

今月から私立高校入試が本格的に始まります。受験は、自分の将来を自らの力で切り拓いていくための「試練」であり「チャンス」です。

- ・自信を持つこと(これまでやってきたことを信じる)
- ・準備を怠らないこと(持ち物や時間の再確認)
- ・感謝を忘れないこと(支えてくれる人たちへの想い)

この3つを胸に、堂々と会場へ向かってください。

頑張れ、原市中3年生!

輝く未来は、その手の先にあります!